



◎新年あけましておめでとうございます！

1月に入り、日に日に「オミクロン株」の感染者数が増えてきました。市中感染がみられてからの感染速度が速まり、第6波の入り口に入ったと言われています。そんな中、新学期が始まりました。3年生はいよいよ受験のシーズンが始まりました。改めて気を引き締めて、感染対策を徹底してください。よろしくお願いいたします。

さて、2学期の終業式で、「冬休み中に、せめて1冊本を読んでください」と言いましたが、どうですか？読んでもらえましたか？私は、筑摩書房の「ちくまQブックス 未来のきみを変える読書術 なぜ本を読むのか？」 苫野一徳著 を読んだので、一部紹介をしたいと思います。

まず、冒頭で「読書は僕たちをグーグルマップにする」…大量の読書経験を積み、世界の見方がまるで変わってしまう。“教養（自由に生きるための知恵や知識）のクモの巣”を張り巡らせば人生の苦難の場面で「いま、自分はこんなふうの問題を解決すればいいんだ！こんな行動に出ればいいんだ！そんな答えが、突如としてひらめくのです。…だれかとのいざこざや喧嘩の際、お互いに言葉を尽くして話し合えば理解し合えたかもしれない、落としどころを見つけられたかもしれないのに、その言葉が見つからないために、イライラしてつい暴力や安易な暴言などに訴えてしまうことがある。そのためにも、わたしたちは“言葉をためる”必要があります。自分の考えを、また感情を、もっとも的確な言葉に乗せて伝えられるように、たくさんの言葉を知る必要があります。そのためのもっとも有効な方法が、やはり読書です。

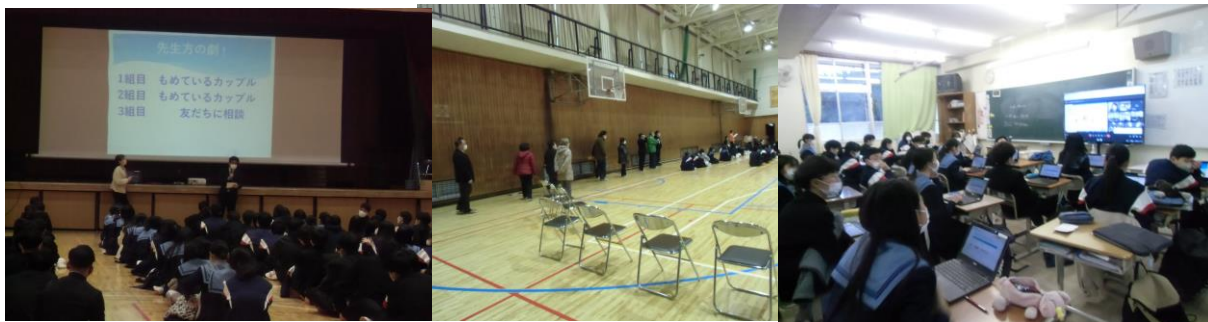
「ネットじゃダメなの？」もちろん、時と場合によっては、ネットからの知識や情報の入手で十分だとわたしも思います。とりわけ、ピンポイントで断片的な知識や情報を素早く手に入れたい時は、ネットの方が圧倒的に便利です。でも、本とネットの情報や記事の間には、じつは決定的な違いがあるのです。多くのネット上の文章が十分な検証を経ていないのに対して、本の場合は、編集者や校閲者による厳しいチェックを経ているという点が挙げられます。…校閲とは、誤字脱字や言葉遣いなどのチェックだけでなく、書かれてある内容の事実確認なども行う仕事です。…1冊の本には、多くの場合何人も人の情熱や知が注がれているのだということを、みなさんにはぜひ知っておいていただくと嬉しく思います。

「“構造”をとらえる」…“構造”をつかむ読書経験は、わたしたちが構造的に思考をし、表現する力もまた育ててくれます。…何かを伝えたいことがある時に、どのような根拠をもって、どのような順序で、どのような言葉を使って論じればもっとも効果的に伝わるか、といったことも含めて、広い視野で考えらるようになる、ということです。

以上のように、読書経験を積むことは「予測不可能な未来」を生き抜くみなさんにとっても必要なことだと思います。面白そうだと思う本から読み始めてほしいです。

◎12月17日(金) 3年男女共生学習 テートDV予防啓発

ドーン財団より萬田久美子さん他1名を講師に迎え、体育館でデートDVの予防啓発授業をしていただきました。地域の保護司・更生保護女性会・駐在員のみなさんにもその様子を見学していただきました。この日は、1年生はタブレットで使える学習ソフト「eライブラリ」の新しい機能をリモートで教えていただく様子も見学していただきました。



◎12月24日(金) 合唱部 & 芸能部が「常盤大学」で熱演！

午後1時30分から桜台市民センターの「常盤大学」の方々の前で「クリスマスコンサート」を行いました。芸能部の「よさこい」「祭り」等のダンスから始まり合唱部「わらべうた」「足跡」等クリスマスメドレーの後、手作りの「食べ物ビンゴゲーム」を楽しみ、「WAになって踊ろう」を会場のみなさんと一緒に踊りました。1時間半、「楽しいひと時を過ごせた」と喜んでいただきました。



◎12月27日(月) ブラスバンド部 アンサンブルコンテストで金賞！

大東市立総合文化センターサーティーホールで開催された「第12回管弦打楽器アンサンブルコンテスト」と「第48回アンサンブルコンテスト大阪府大会」中学生の部に参加した(2年折出有織、高島那奈、松本優奈、1年小伊勢結月)がどちらも金賞を受賞しました。おめでとう

◎12月27日(月) 陸上部 岸和田市冬季スポーツ大会駅伝 第3位！

桜台Aチーム (1走2年片山義太、2走2年兵頭秀弥、3走1年川上健太、4走2年松下速也、5走2年田内神児、6走2年杉本伶斗) おめでとう！

◎生徒会 赤い羽根共同募金 8796円 ご協力ありがとうございました。